

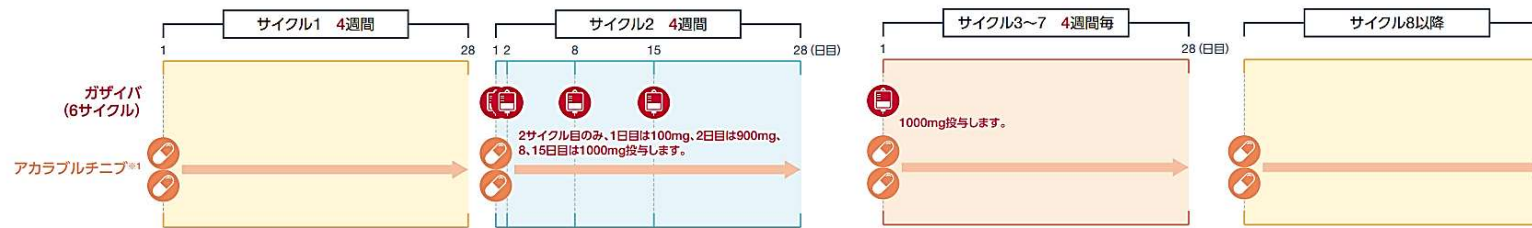
レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年6月15日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美
レジメン名	カルケンス+ガザイバ(1コース目)	化学療法委員会承認年月	年 月
疾患名	慢性リンパ性白血病	適応の備考	CD20陽性のCLL/SLL
適応分類	進行・再発、寛解導入		カルケンス+ガザイバ(1コース目)の開始前に、カルケンス4週間服用
1コース日数	28 日間	総コース数	1 コース 催吐性リスク 最小度
抗がん剤投与量・投与日	ガザイバ100mg/body day1, 900mg/body day2, 1000mg/body day8,15, カルケンス200mg/body day1-28		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																														
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分	●	●																										
	点滴静注	水溶性プレドニン注50mg	2 A / body		●	●																										
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分	●	●																										
	点滴静注																															
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ガザイバ注	100 mg / body	下記	●																											
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ガザイバ注	900 mg / body	下記	●																											
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●								●												
	点滴静注																															
6	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●							●								●												
	点滴静注	ガザイバ注	1000 mg / body	下記	●							●								●												
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●						●								●												
	点滴静注																															
	経口投与	ボラミン錠2mg ジクロフェナク錠25mg	1-3 錠 / body 1 錠 / body		●	●						●								●												
		ガザイバ投与の30分前			●	●						●								●												
	経口投与	カルケンス100mg	2 Cap / body	分2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		100mg 1日2回 経口投与 適宜減量																														

【投与上の注意】
 ガザイバ:総液量100mLまたは250mLに調製。
 ガザイバ:0.2または0.22μmのインラインフィルターを使用して投与する。
 ガザイバ:①1コースのday1,day2:前投薬としてボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。前投薬のプレドニン注の代わりに内服投与する場合は、プレドニン錠(5)20錠を別にオーダ。
 ②1コースのday2以降:前回の投与でinfusion reactionが発現しなかった場合、ボラミンは省略可。
 ③1コースのday2以降:前回の投与でGrade 1又は2のinfusion reactionが発現した場合、ボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。
 ④前回の投与でGrade3のinfusion reactionが発現、又は投与前のリンパ球数が25×10⁹/Lを超える場合:前投薬としてボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠、プレドニン注100mgを投与。
 前投薬のプレドニン注の代わりに内服投与する場合は、プレドニン錠(5)20錠を別にオーダ。

ガザイバ:投与速度は、ガザイバの投与量100mg、900mg、1000mgにより投与速度が異なるため、注意すること。
 ガザイバ:投与速度【ガザイバ投与量 100mg】25mL/hで開始、投与速度を上げずに投与。
 ガザイバ:投与速度【ガザイバ投与量 900mg】①100mg 投与でinfusion reactionが発現しなかった場合
 13.9mL/h×30分、27.8mL/h×30分、41.7mL/h×30分、55.6mL/h×30分、69.4mL/h×30分、83.3mL/h×30分、97.2mL/h×30分、残りは111.1mL/hとする。
 ガザイバ:投与速度【ガザイバ投与量 900mg】②100mg 投与でinfusion reaction発現時
 6.9mL/h×30分で開始、13.9mL/h×30分、27.8mL/h×30分、41.7mL/h×30分、55.6mL/h×30分、69.4mL/h×30分、83.3mL/h×30分、97.2mL/h×30分、残りは111.1mL/hとする。
 ガザイバ:投与速度【ガザイバ投与量1000mg】①前回投与でinfusion reactionが発現しなかった場合
 25mL/h×30分で開始、50mL/h×30分、75mL/h×30分、残りは100mL/hとする。
 ガザイバ:投与速度【ガザイバ投与量1000mg】②前回投与でinfusion reaction発現時
 12.5mL/h×30分、25mL/h×30分、37.5mL/h×30分、50mL/h×30分、62.5mL/h×30分、75mL/h×30分、87.5mL/h×30分、残りは100mL/hとする。

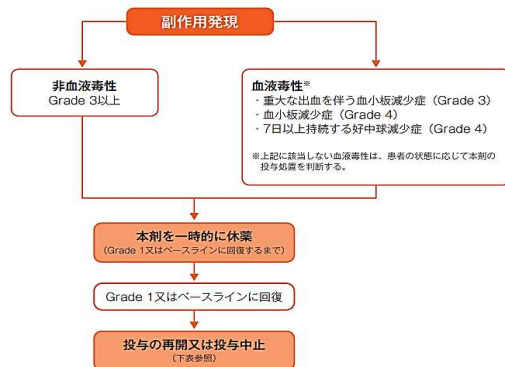


※1：病勢進行又は許容できない毒性が発現するまで継続投与

【減量基準】 ※カルケンス

● 副作用発現時の対応

副作用が発現した場合には、以下のとおり、本剤の一時的な休薬、投与中止又は用量調節を行ってください。



用量調節の目安

発現回数	回復後の再開時投与量
1又は2回	1回100 mgを1日2回
3回	1回100 mgを1日1回
4回	投与中止